

各 位

2019年4月25日  
大原薬品工業株式会社

## 新規胆道がん治療薬に関するライセンス及び共同開発契約締結について

大原薬品工業株式会社（本社：滋賀県甲賀市、代表取締役社長：大原 誠司、以下、「当社」）は、このたび、ジェイファーマ株式会社（本部：神奈川県横浜市、代表取締役会長：遠藤 仁、代表取締役社長：吉武 益広、以下、「ジェイファーマ」）と新規化合物 JPH203 に関するライセンス及び共同開発契約を本年 4 月 25 日付で締結いたしました。

本契約締結により当社は、進行性胆道がんを対象として JPH203 を日本、中国を含むアジア地域およびアフリカ地域で独占的に研究、開発、販売、製造する権利を取得しました。ジェイファーマに対しては、契約金、JPH203 の開発マイルストーンに応じた対価ならびに売上に連動したロイヤリティを支払います。また、当社はジェイファーマが実施する第三者割当増資の引き受けを行います。

JPH203 はがん細胞に特異的に発現するアミノ酸トランスポーターLAT1 を選択的に阻害し、LAT1 を介したアミノ酸の取り込みを抑制することで腫瘍細胞をアポトーシスに導く新規の低分子化合物です。進行性固形腫瘍患者における第Ⅰ相臨床試験において、良好な忍容性が認められ、胆道がんに対する効果が示唆されました。現在は、進行性胆道がんを対象とした第Ⅱ相臨床試験が進められています。

当社は現在、アンメットメディカルニーズの充足のために開発パイプラインの強化に努めており、今回のジェイファーマとの戦略的な提携もその一環です。一日も早く JPH203 を胆道がんに苦しむ患者さまにお届けできるよう、開発を進めて参ります。

### 【大原薬品工業株式会社について】

大原薬品工業株式会社は、オーファンドラッグとジェネリック医薬品の創薬及び育薬を事業の柱とした医薬品会社です。2018 年度からスタートした中期 3 年計画では、「アンメットメディカルニーズに挑む」をテーマに『Challenge 2020』をキャッチフレーズとして経営革新を行い、さらなる飛躍を目指しております。特に小児がん領域を中心としたオーファンドラッグの開発・販売や、医療事故防止に配慮したジェネリック医薬品の開発・製造・販売に注力しています。今後はこれらの事業を通じて、アジア・アフリカを中心とした新興国への展開を図っていく予定です。

## 【ジェイファーマ株式会社について】

ジェイファーマ株式会社は、主として細胞膜に存在するタンパク質で細胞内外への物質輸送を担う「トランスポーター」を標的とした創薬を希求するベンチャー企業です。この領域は、開発された薬剤は少なく、このトランスポーターを標的とする創薬を会社の使命として位置付けており、診断と治療を一体化した全治療体系を確立することを目指しています。現在 LAT1 を標的とした抗がん剤 JPH203、OKY-034 や新規 PET 診断薬 NKO-028 の開発を進めております。詳しくは、<http://www.j-pharma.com> をご覧ください。

## 【アミノ酸トランスポーターLAT1 について】

アミノ酸トランスポーターは細胞外から細胞内に栄養などを輸送する栄養トランスポーターとして正常細胞にも存在しますが、LAT1 は腫瘍細胞に選択的かつ高発現するアミノ酸トランスポーターであり、多くの必須アミノ酸を含む大型側鎖を持つ中性アミノ酸を輸送します。大腸がん、肺がん、前立腺がん、胃がん、乳がん、胆道がん、すい臓がん、腎臓がん、喉頭がん、食道がん、脳腫瘍などの多くのがんで発現が上昇し、胆道がん、すい臓がんで LAT1 の高発現が予後不良因子であることが報告されております。

## 【胆道がんについて】

本邦における胆道がんの死亡者数は年間約 18,000 人であり近年増加傾向にあります。<sup>1)</sup>一方、現時点において、標準的化学療法が無効な胆道がん患者に対して推奨される 2 次化学療法は確立しておらず、2 次化学療法に対するニーズが高い状況です。<sup>2)</sup>

1) 人口動態統計（厚生労働省大臣官房長官統計情報部編）人口動態統計によるがん死亡データ（1958 年～2016 年）

2) 日本肝胆膵外科学会 胆道がん診療ガイドライン作成委員会編. 胆道癌診療ガイドライン

### ◆本件に対するお問い合わせ先◆

大原薬品工業株式会社

担当：早川（はやかわ）、井用（いよう）

Tel : 03-6740-7701 FAX: 03-6740-7702